

「いい日、いい日、毎日、あったか介護をありがとう」 11月11日は「介護の日」

厚生労働省において、平成20年度から11月11日が「介護の日」として設定されました。

介護を必要とする人や介護の仕事をしている人だけでなく、多くの人に、介護を身近な物としてとらえていただき、それぞれの立場で介護を考え、関わってもらうことを目的としています。

本市の高齢化の状況を見ると、10月1日現在の65歳以上の高齢者人口は30,508人で、総人口に占める割合は、24.7パーセント。9月末現在で要介護認定を受けている人は5,451人です。

もし介護が必要になっても、地域での支え合いがあれば、住み慣れた地域で過ごすことができます。介護は誰にでもかかわりがあることなのです。



介護予防サポーター養成講習会

「介護予防サポーター」とは、地域で介護予防を実践し、高齢者への声かけ・励まし・見守りを行なうなど高齢者の方がいきいきと暮らすための支援をしていただく方です。

市内にお住まい、またはお勤めで、介護予防に関心があり、その普及啓発に協力いただける方を募集します。3日間以上受講が可能な方。年齢は問いません。

▶日時・内容 ※時間はすべて午後1時30分～3時

日時	内容
11月27日(火)	高齢者のお口ケア
12月4日(火)	認知症の人を支えるために
12月11日(火)	高齢者に望ましい運動
12月18日(火)	地域における支え合い

▶会場・定員 田沼中央公民館・先着30人



認知症を正しく知ろう（認知症サポーター養成講座）

認知症の基礎知識をやさしく紹介し、声のかけ方・対応について学びます。

受講者にはテキストと認知症サポーターであることを示すオレンジリングを配布します。

▶日時 11月27日(火)午後1時30分～3時

▶会場 道の駅どまんなかたぬま(どまんなかホール)

▶内容 佐野市地域包括支援センターの職員による講話・劇

▶定員 先着50人

※講座開催のお手伝いをしてくださるメイトさんを募集中！

お申し込みはそれぞれ、いきいき高齢課☎(20)3021へ



「介護マーク」を配布しています

この「介護マーク」は、介護する方が、介護中であることを周囲に理解していただくためのものです。活用する例としては、下記のような場面があります。

1. 介護していることを周囲にさりげなく知ってもらいたいとき
2. 駅やサービスエリアなどのトイレで付き添うとき
3. 男性介護者が女性用下着を購入するとき

※配布場所についてはいきいき高齢課までお問い合わせください



第4回『介護の日』フェスティバル in とちぎ開催

- ▶日時 11月10日(土)
午前10時～午後4時
- ▶会場 とちぎ健康の森(宇都宮市)
- ▶内容 栃木県内の介護保険施設による研究発表、講演『『平穏死』のすすめ』(特別養護老人ホーム芦花ホーム常勤医師・石飛幸三さん)、コンサート(アルケミスト)その他、福祉機器の展示、介護相談ブースなど
- ▶費用 無料
- ▶主催 栃木県・栃木県老人福祉施設協議会
- 問合せ 栃木県高齢対策課
☎028(623)3148

ご存じですか？佐野市地域包括支援センター

地域包括支援センターは、高齢者の皆さんやそのご家族の「心配ごと」や「悩みごと」など、さまざまな相談を受け付ける身近な相談窓口です。お気軽にご相談ください。

また、お近くに心配な高齢者がいる場合も地域包括支援センターへご連絡ください。

担当日常生活圏域

佐野・堀米 旗川・吾妻

佐野市地域包括支援センター
さの社協
(佐野市総合福祉センター内)
大橋町3212番地27
☎(22)8129

担当日常生活圏域

植野・界 犬伏

佐野市地域包括支援センター
佐野市医師会
(佐野市医師会病院内)
植上町1677番地
☎(20)2011

担当日常生活圏域

赤見 栃本・田沼北部・三好・野上
田沼・田沼南部 戸奈良・新合・飛駒

佐野市地域包括支援センター
佐野市民病院
田沼町1832番地1
☎(62)8281

担当日常生活圏域

葛生 常盤・氷室

佐野市地域包括支援センター
くずう
(葛生あくと保健センター内)
あくと町3084番地
☎(84)3111

■問合せ いきいき高齢課☎(20)3021